

学術大会の参加しやすさ（accessibility）向上に関するアンケート 調査報告書ver.2

2021年1月
日本プライマリ・ケア連合学会
ダイバシティ推進委員会
文責：森屋淳子

調査対象：日本プライマリ・ケア連合学会員

調査期間：2020年12月20日～2021年1月10日（3週間）

調査目的：より多くの学会員が参加しやすい学術大会のために何が必要かのニーズを把握すること。

調査項目：

1. 回答者の基本属性
2. 学術大会現地開催への参加しづらさの要因
3. 学術大会Web開催への参加しづらさの要因
4. 2020学術大会@広島でのWeb開催の参加しやすかった点・しにくかった点
5. 2021学術大会@福岡でのWeb開催でのニーズ調査
6. 2021学術大会@福岡の現地開催でのニーズ調査
7. 全体へのコメント

調査結果概要：

* 学会員メーリングリスト（7,078名）に学会事務局より回答依頼メールを送付し、回答を得られた410名（回収率5.8%）の結果を集計・解析した。

* 回答者の基本属性は年齢46.1±10.1歳（27～71歳）、勤務年数19.9±10.2年（0～46年）、男性65%、女性34%であった。

* 学術大会に参加しづらさを感じている回答者の割合は、現地開催で72%、Web開催で25%であった。

* 現地開催への参加しづらさの主な要因は、移動に伴う時間的負担（79%）、身体的負担（50%）、経済的負担（43%）であった。

* Web開催への参加しづらさの主な要因は、子どもを預ける必要がある（26%）、子供や家族の行事・習い事などの予定（21%）、インターネット環境の問題（18%）であった。

* 回答者の75%が2020年度の学術大会@広島（完全Web開催）に参加しており、最も参加しやすかった点・良かった点は、自分の都合で自由に参加できた（44%）、移動に伴う負担が少ない（41%）であった。一方、最も参加しにくかった点・残念だった点は、交流の機会が少なかった（31%）、いつでも観られると思うとこえって観なかった（28%）であった。

* Web開催におけるニーズ調査での利用希望者の割合はそれぞれ、オンデマンド配信の実施（90%）、オンデマンド配信期間の延長（84%）、倍速機能（71%）、短時間構成のオンデマンド配信（65%）、オンライン交流会（28%）、サテライト会場開設（26%）、託児料補助券（14%）であった。

* 現地開催におけるニーズ調査での利用希望者の割合はそれぞれ、Free-WiFi（81%）、懇談できるCafeスペース（56%）、託児所（25%）、学童保育（19%）、キッズツアー（19%）であった。

* 託児所利用に関しては、未子が乳児の場合は回答者の75%、未就学児では46%、小学生では22%、中学生以上では9%が希望した。

* その他、Webや現地で参加しやすくなるためのアイデア・提案、運営側への要望などのコメントも多数寄せられた。

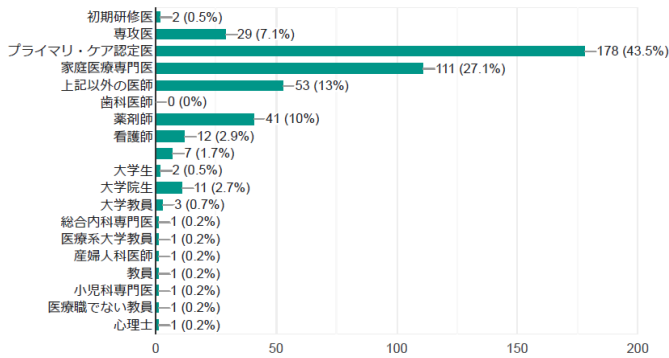
1. 回答者の基本属性

年齢（409件）：46.1±10.1歳（27～71歳）

勤務年数（404件）：19.9±10.2年（0～46年）

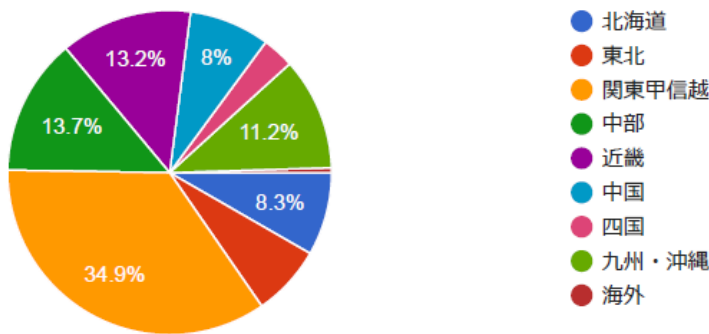
性別（409件）：男性265（65.1%）、女性140（34.2%）、Xジェンダー0、回答しない4（1%）

職種（409件）：初期研修医2（0.5%）、専攻医29（7.1%）、プライマリ・ケア認定医178（43.5%）、家庭医療専門医111（27.1%）、上記以外の医師56（14%）、歯科医師0、薬剤師41（10%）、看護師12（2.9%）、上記以外のメディカルスタッフ8（2.0%）、大学生2（0.5%）、大学院生11（2.7%）、教員6（1.5%）



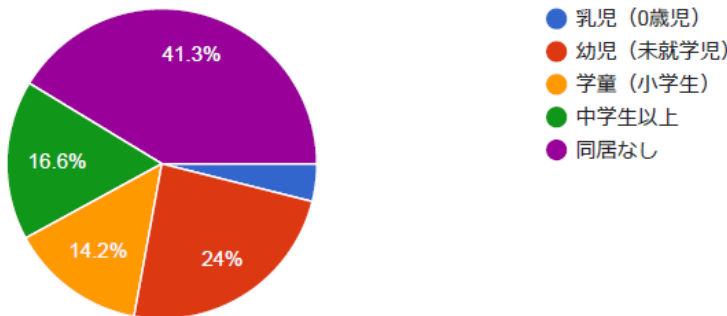
居住地域 (410件)

関東甲信越143 (34.9%)、中部56 (13.7%)、近畿54 (13.2%)、九州・沖縄46 (11.2%)、北海道34 (8.3%)、中国33 (8%)、東北29 (7.1%)、四国13 (3.2%)、海外2 (0.5%)



同居している末子の年齢区分 (409件)

同居なし169 (41.3%)、乳児 (0歳児) 16 (3.9%)、幼児 (未就学児) 98 (24%)、学童 (小学生) 58 (14.2%)、中学生以上68 (16.6%)



2. 学術大会現地開催の参加しづらさの有無

参加しづらさあり→294 (71.9%)、なし→115 (28.1%)

*** 参加しづらさの理由**

- ・移動に伴う時間的負担がある233 (79%)
- ・移動に伴う身体的負担がある148 (50.2%)
- ・移動に伴う経済的負担がある127 (43.1%)
- ・土日に仕事を休みづらい104 (35.3%)
- ・移動に伴う精神的負担がある72 (24.4%)
- ・子どもを預ける必要がある63 (21.4%)
- ・子どもや家族の行事・習い事などの予定がある56 (19%)

その他

- ・ COVID感染リスク 12
- ・ 子ども・家族関連 8 (子連れ大変、家族への罪悪感、夫婦で学会員など)
- ・ 魅力を感じない 2
- ・ 他学会との日程調整 1
- ・ 参加費が高い 1

3. 学術大会Web開催の参加しづらさの有無

参加しづらさあり→102 (25.2%)、なし→302 (74.8%)

* 参加しづらさの理由 (103件)

- ・ 子どもを預ける必要がある 27 (26.2%)
- ・ 子どもや家族の行事・習い事などの予定がある 22 (21.4%)
- ・ インターネット環境 (通信環境) の問題がある19 (18.4%)
- ・ 土日に仕事を休みづらい14 (13.6%)
- ・ パソコンの設定といった技術的なハードルがある14 (13.6%)
- ・ 介護をしている人がいる 1 (1%)

その他

- ・ 物理的に離れないと仕事・育児・家事から解放されない
- ・ 子供の乱入
- ・ 逆に時間を取りにくい
- ・ PC画面を見続ける身体的な負担
- ・ 自分の部屋がない
- ・ 配信期間が短い
- ・ 参加費が高い
- ・ 日常とのメリハリがつかない
- ・ 集中できない
- ・ 精神的余裕がない

4. 2020年度の学術大会@広島 (完全Web開催) への参加

参加→308 (75.5%)、不参加→100 (24.5%)

Web開催で最も参加しやすかった点・よかった点

- ・ 自分の都合で自由に (好きな時間、好きなだけ、ながら参加など) 参加できた135 (43.8%)
- ・ 移動に伴う負担が少ない 128 (41.6%)
- ・ 家族や職場への影響が少ない 38 (12.3%)
- ・ チャットの使用による質問やコメントをしやすい 4 (1.3%)

その他

- ・ 特になし 1 (0.3%)
- ・ 感染しない1 (0.3%)
- ・ 聞き逃したところを、オンデマンドなら静止、巻き戻しできる 1 (0.3%)

Web開催で最も参加しにくかった点・残念な点

- ・ 交流の機会が少なかった 91 (30.7%)
- ・ いつでも観られると思うとかえって観なかった 82 (27.7%)
- ・ 他のことをしながらになってしまい集中できなかった 51 (17.2%)
- ・ 各企画内での交流が図りづらかった 30 (10.1%)
- ・ 回線トラブル、サイトに入れないといった通信上の困難があった 10 (3.4%)
- ・ パソコンの設定やリンク先が不明といった技術的な困難があった 7 (2.4%)

その他

- ・ 開催期間が不明確でいつやっているのかわからなかった。他学会のようにメインの日程を決め、その後オンデマンド視聴が可能などのほうが盛り上がると思う。
- ・ 視聴可能な期間が短すぎる

5. Web開催におけるニーズ調査

下記の選択肢があれば使う・参加すると思いますか？

件数 (%)

	はい	いいえ	わからない	無回答
オンデマンド配信の実施	367(89.5)	10(2.4)	29(7.1)	4(1.0)
オンデマンド配信期間の延長(2-3か月)	343(83.7)	16(3.9)	44(10.7)	7(1.7)
オンデマンド配信倍速再生機能	289(70.5)	46(11.2)	59(14.4)	16(3.9)
短時間構成のオンデマンド配信	266(64.9)	35(8.5)	84(20.5)	25(6.1)
オンライン交流会	114(27.8)	128(31.2)	140(34.1)	28(6.8)
サテライト会場開設	108(26.3)	137(33.4)	138(33.7)	27(6.6)
託児料補助券	56(13.7)	213(52.0)	99(24.1)	42(10.2)

Webでの参加しやすくなるためのアイデア・提案

* 内容に関して

- ・多くの職種に関わるような話題や内容、セッションの設定
- ・講演内容のweb適正化
- ・講演資料のダウンロードなどによる資料提供
- ・動画に字幕
- ・リアルタイムのオンラインセッションで参加型にする工夫、グループワークなど
- ・一般演題もオンデマンド化
- ・海外からの講演は必要

* オンデマンド配信について

- ・配信期間は長くする、短くする、両意見あり
- ・オンデマンド配信の視聴者数の表示や内容について評価（高評価のものから優先的に視聴できる）
- ・オンデマンドでは興味のある内容が時間的な重なりなく視聴できてよかった

* 講演などの演者への質問について

- ・チャットなどを用いた質問回答システム
- ・公ではない質問の機会確保（実際に困っていることを相談しやすい）
- ・講演終了後一定期間質問を募集し、それに回答するセッションをつくる

* オンラインでの交流について

- ・ポスター発表でも質問など双方向のやりとり
- ・地域別などテーマを分けた小グループでの交流会
- ・参加者同士自由にやりとりできる交流ルームの設置
- ・人数やテーマを決めて自由討論する道場形式
- ・バーチャル空間でオンラインでの交流、3Dでの学会会場

* 参加費について

- ・会費の減額
- ・会費の種別設定（オンラインと現地開催で分ける、視聴できるコンテンツの数によりチケット制、職場単位での参加費設定）

* システムについて

- ・企画の開始やオンデマンド配信の期限についてのリマインド
- ・内容のトピック紹介などのニュース形式による配信
- ・学術大会のホームページからプログラム一覧や抄録へのアクセスのしやすさ
- ・ポスター発表の見方の説明
- ・紙の抄録集のような(一覧, 目次がある)抄録のアップ
- ・マイページからワンクリックで課金して参加できるシステム

* こどもに関して

- ・オンラインでも託児を使えるシステム
- ・こども連れでも参加しやすい雰囲気（zoom等への乱入など）
- ・一般演題など録画での参加（子供のいない時間に録画を済ませられる）

* その他

- ・オンライン参加を出張として認めるよう学会から推奨してほしい
- ・リアルタイムセッションの日時分散（平日や夜開催も）

- ・単位取得の簡便化（開始前後でのクリックだと通信が悪かった時に取得できない可能性などがあるためメールなどでも取得できるなどの工夫）

6. 現地開催におけるニーズ調査

下記の選択肢があれば使う・参加すると思いませんか？ 件数 (%)

	はい	いいえ	わからない	無回答
Free WiFi	333(81.2)	43(10.5)	26(6.3)	8(2.0)
懇談できるCaféスペース	231(56.3)	86(21.0)	70(17.1)	23(5.6)
託児所	103(25.1)	189(46.1)	80(19.5)	38(9.3)
学童保育	78(19.0)	201(49.0)	93(22.7)	38(9.3)
キッズツアー	78(19.0)	189(46.1)	105(25.6)	38(9.3)

* 現地託児所利用希望の有無

末子が乳児(16名):はい12名(75%),いいえ4名(25%)

末子が未就学児(97名):はい45名(46.4%),いいえ27名(27.8%),わからない25名(25.8%)

末子が小学生(58名):はい13名 (22.4%),いいえ31名 (53.4%),わからない14名 (24.1%)

末子が中学生以上(67名):はい6名(9%),いいえ41名(61.2%),わからない11名(16.4%),

無回答9名 (13.4%)

現地開催での参加しやすくなるためのアイデア・提案

* 現地開催はなくしてほしい／なくした方がよい

- ・こと次回についてはコロナのリスクはゼロにはなっていないでしょうから、現地開催は行わないほうがいいのではないのでしょうか。現地参加のメリットはランダムな交流ですが、コロナ時代ではランダムな交流が最も控えるべきことになり、加えて参加者は医師ですので、リスクが大きすぎるように感じます。

* 感染対策に関して

- ・密を避ける展示方法、PCR検査、ワクチン接種、複数会場、屋外での昼食場所、マスクや衛生用品の入手場所の表示、Social Distancingの注意喚起の表示
- ・現地で行うのは交流会だけにして他の企画と分離する

* 開催日時に関して

- ・月末・月初の開催を避ける
- ・土日祝の開催 →本当は平日開催にして仕事を休めるようになれば良いけれど、という意見も
- ・開催時間の短縮 当日入り可能な開始時間と当日帰宅可能な終了時間

* 開催場所・アクセスに関して

- ・毎年固定の開催地
- ・アクセスのよい大都市開催（東京、大阪、名古屋、福岡など）
- ・会場が駅や空港から近い、地方からでも日帰りできる会場
- ・宿泊の予約が取りやすいところ
- ・宿泊費の安いところ（世界的な観光地は宿泊費が高いので避けてほしい）
- ・空港からのシャトルバス、空港からのツアー形式
- ・旅行会社との連携

* 費用に関して

- ・学会参加費を安くする、参加費の高額化の是正
- ・研修医への旅費支給
- ・タクシー割引券

* 子供関連

- ・子供の旅費補助・託児費負担、子連れ宿泊ディスカウント、託児無料
- ・年齢別託児
- ・託児所での食事・おやつの提供
- ・キッズ・ベビーフレンドリーな宿泊先の紹介、授乳・おむつ交換スペースの設置
- ・子供の学習にもなるようなキッカケ・機会

- ・キッズツアーの参加者状況（小学低学年男子の人数など）が分かる仕組み
- ・子連れ可能な懇親会
- ・映画上映など小学生でも楽しめる場所になると預けやすい
- ・熊本市医師会は講演会や学会時は無料託児サービスが利用できるもので、活用しています。
- ・子どもが会場に入っても問題ないとする大会長からのアナウンス。託児所にあずけるのがむずかしい子どももいるので、現地でもPC上でも子どもが会場内・PCの画面上にいることを許容できる雰囲気をもっとあるといいなと思います。
- ・数は少ないと思いますが障がい児を看ってくれるサポートがある託児があると同行を考えられるかなと思います。
- ・コロナ禍なので、託児所利用に関して不安はあります。でもそういう方は利用されないと思うので本当に託児所に預けて現地参加をしたいという方のみの利用になることは予想されます。

*ハイブリッド開催・デジタルの活用に関して

- ・インタラクティブさが求められるもののみハイブリッド開催でよい。
- ・Web配信
- ・行っても参加できない、という状況をなくす
- ・人気のあるフォーラムのオンデマンド配信
- ・朝のインタレストグループなどは、Web参加の効果ありそう。
- ・ポスターの電子化（印刷や持ち運びもしくは輸送などの負担が減る、資源の節約になるため環境面や心理的にも良い）
- ・質問などの時間は従来型の挙手+マイクを通じたもの以外にチャットなど電子媒体を利用

*内容に関して

- ・現地参加を選択するメリット：実技など、実際に体を動かして体験型の講義
- ・現地で人が集まるのではなく、現地でタブレット参加というのも面白いかも。
- ・グループワークが苦手。主に座学がうれしい。
- ・ブース形式（あるいはオンライン）のプライマリ・ケア実践・教育よろず相談
- ・2019までと同じでよい。小児の内容が増えるとなおよい。
- ・抄録コンテスト

*交流に関して

- ・現地少人数での名店めぐり
- ・おいしい食事環境、フレンドリーな対応、多職種での積極的で楽しい交流促進策
- ・背広・ネクタイ禁止
- ・プライマリ・ケア連合学会は若い人が多くて参加しにくい

*設備に関して

- ・コインロッカー
- ・休憩所、座るところ
- ・目に見える形でのダイバーシティへの配慮（だれでもトイレやエレベーターの案内など、目にすると当事者以外も安心できたり、啓発につながる）

7. 全体へのコメント

*アンケートへの感謝・応援

- ・accessibilityに関するアンケートを初めて経験しました。こうしたことを御配慮頂けること自体を大変ありがたく感じます。
- ・このようなことを考慮してくださること自体、素晴らしいことです。
- ・このような意見募集の機会を提供してくれて、ありがとうございます。
- ・このような事前アンケートの試みは素晴らしいと思います。
- ・育児しながらでも参加出来る取り組みはぜひ増やして頂きたいので、私自身も出来る限りご協力させて頂きます。

*実行委員会への感謝・応援

- ・COVID-19で大変な中、学会開催にご尽力いただいた関係者の皆様に本当に感謝しています。子供は広島でのキッズツアーを楽しみにしていたので残念でしたが、また機会があれば参加させたいです。（もちろん、親もしっかり勉強します。）
- ・コロナウイルスの動向が不確定の中での開催、本当にありがとうございます。私は規模縮小でもいいのかなと思います。開催されるだけでも、素晴らしいと思います。実行委員の皆様、何卒お身体を大切にしてください。

- ・コロナ禍での開催準備、大変だと思います。盛會を祈願しております。
- ・コロナ禍で大変と思いますが、気張って下さい。応援しております。
- ・運営されている先生方・事務局の方々、いつもありがとうございます。
- ・感染症の流行によって、現地参加キャンセルをせざるを得ないことはこれまで以上に多いのかなと思います。運営を応援しています！
- ・現地に集まれないとしても、WEB開催などで、学びや交流の機会を作りつづけることが、プライマリケアに携わる人々のモチベーションを保つために必要だと思われます。運営に携わるスタッフや発表者の先生方に大変感謝いたします。
- ・毎回学会員の参加しやすさを真摯に検討頂き、僻地勤務子育て医師夫婦としては大変ありがたく感じています。

* Web開催/ハイブリッド開催/オンデマンド配信に関して

- ・web開催は、とても参加しやすくいいと思います。興味深い話題が多数あると嬉しいです。
- ・Web開催は、参加負担が少なく、また、オンデマンド配信があることでいつも以上に沢山の分野の勉強ができたので、とてもありがたかったです。
- ・Web開催は、時間の都合がつけやすく、便利だなと感じました。
- ・Web開催と現地開催の両方で開催となると参加しやすくなります。広島大会は忙しくて参加できませんでしたが今回は是非参加したいと思います。
- ・Web開催であるにもかかわらず、参加費がこれまでの現地開催型と同じ金額設定であることが理解しづらいです。
- ・ハイブリッドはとてもよい案だと思います。
- ・webだと、学術大会感がなく、また自宅では子どもがいるために、結局参加したものの、みませんでした。ハイブリット開催を希望します。
- ・ハイブリッド開催はコスト的にも大きい割に現地参加者が少ないこともあると思いますので、この際Webのみでの開催でもよいのではないのでしょうか。webでも方法次第で交流は可能だと思っています。
- ・オンデマンド開催を継続してほしいです
- ・オンラインも現地参加も両方選べる体制がいい。オンデマンドであれば、子どもがいない時間やねている間でも参加できる女性が増えるのでは。
- ・オンライン学会の更なるバージョンアップが必要。VR技術の導入など
- ・このご時世にあり、Webでの開催がデフォルトになると参加することのメリットは少なくなると思われます。
- ・どんな感染症対策をしているかがわかれば、現地参加しやすいかと。イオンシネマでも席を離したり、空気入れ替えをしていたり、の説明があるので、映画を見ようかと思いました。
- ・医療崩壊がとか騒いでいるくらいなのだから医療職こそできる範囲で率先してweb会議、web開催にすべきです。現地開催は今の時点から中止にしたほうがよい。
- ・お祭りっぽい今までの学術大会をどう再現するかという観点も重要ですが、これからの学術大会スタイルを新しくつくっていくというのが大事なかなと思いました。
- ・COVID-19が収束しないとなかなか難しいです。
- ・学会単位取得の際はいつも密状態が発生しているのでCOVID-19流行時は現地開催は臨機応変にした方がよいかもしれない
- ・サテライト化はいいと思います
- ・遠方なのでオンデマンドでの演題投稿&オンライン参加を継続していただけると大変ありがたい
- ・会社の規定で県外は行けない事になっています。web開催をお願いします。
- ・学会開催は今後Webと現地開催との併用となるとおもいます。しばらくはWebで参加したい
- ・基本としては現地参加したいが、都合で参加出来なくなった場合に制度としてWeb参加に切り替えられる様にできれば、もっと参加し易くなると思う。
- ・現地とWEBのハイブリッド開催が一番参加しやすいと思う。
- ・現地開催がなくなる場合はいつ決まるのかは教えてほしい
- ・現地開催では、どこの会場であっても電車、飛行機の乗り継ぎつきの子連れ旅を余儀なくされます。午前中からの参加ならば前乗りするので余分な宿泊も。乳児は連れて行かなければならず、授乳が頻回だと託児も困難があり、発表聞いても結局集中できないとか、別学会でやってみたところ身体的に負担もありあきらめたくなるほど疲れしました。よって、前回のウェブ開催とオンデマンド配信は、自分としては久しぶりに集中して参加・学習ができた印象があります。まあ、乳児を連れ歩くのはほんの短い期間なので、また今年は状況は異なるとは思いますが。あと、土日は上の子の習い事のマネジメントや下の子の世話などもあり、オンデマンド配信があると皆が寝静まった時間帯で学習できるので助かります。
- ・現地開催とWeb開催の両方をこれからも継続してほしい。
- ・子どもがおり、かつ往診を実施しているので、いつも遠方の学会には参加できなかったが、今回広島大会にも参加でき、とてもよかった。今後もweb開催も継続してほしい。

- ・家族がいると、夜のオンライン交流会は正直参加しづらいです。人と人との交流に制限がある昨今、学術大会の存在意義について問い直す必要があるのでは、と感じるところです。
- ・現地開催のみだと時間帯の重なったセッションへの参加が困難なので、ハイブリッド開催が望ましい形と思います。
- ・現地開催は参勤交代同様無くなっていく制度だと思います。
- ・現地開催もWeb開催もどちらもメリットがあるので、ハイブリッド開催はとても良いと思います。参加しやすなり、自分のモチベーションも上がると思われます。
- ・広島大会は、WEB開催だったので、現地開催よりも多くのセッションを聴講できて勉強になった。
- ・今は、集まることにリスクがあるので、単位は欲しいが現地参加は難しい
- ・今後もリアルとWebのハイブリッド形式を続けて欲しい
- ・今後も永続的にハイブリッド形式の採用を希望します（子連れ参加はしにくいいため）。
- ・在宅医療をメインで行っているため、患者の体調により、遠方で無くても急遽参加が困難となることがあります。今後もコロナウイルス関係なく、ずっとウェブ参加可能であるとありがたいです。

*子ども関連

- ・幼児だけでなく、中高生の子供がいてもお弁当を持たせたり、朝から送り出したり、学会参加はしにくくなります。託児所・学童保育だけでは解決しません。
- ・ひとり親のため子供を連れて行かねばならず、旅費や託児費が高む。特に遠方の場合は費用も精神的肉体的疲労もあり。どうにもならないことなので、諦めるしかない。
- ・他学会と比較して、子供同伴でも参加しやすい環境は整えていただけていると思います。

*交流に関して

- ・交流会などは、普段から面識がある人が多ければ参加しやすいが、あまり知人友人がいないような若手なども参加しやすいような環境設定があればいいと思う。
- ・ご当地お土産の事前宅配、それをもって交流会参加したら盛り上がる
- ・認定薬剤師ですが、多職種の交流をもっと促進する企画を期待しています。
- ・福岡行って飲み会したいけど無理だろうなあ。怖いし。どうしたら良いんだろう。
- ・PC連合学会のいちばんの良さは交流が図りやすいことですが、コロナ禍でかえってその特徴をはっきり自覚できました。今後はブロックごとでも何らかの形で交流を自覚できる企画を開催頂ければ幸いです。

*運営の改善提案

- ・2021年の学術大会に国際セッションに参加を希望した海外で研修中の友人の家庭医が、発表は現地のみであったため運営に問い合わせたところ変更もできず対応もできないと言われたと聞いています。直接の当事者ではありませんが、表面的で本質を欠く回答に大変失望しています。コロナ対策はもちろんのこと、家庭の事情がある方、離島や一人診療所で離れられない医療者の方、海外にいる方、様々な方がユニバーサルに参加できる形を目指すことが本質的には必要なのではないでしょうか。ハイブリッドと言いながら現地参加に多分なメリットと重点を置くような運営・スケジュールは、現在の流行状況を鑑みても甘い見積もりだと思いますし、不十分な対応と言わざるを得ません。運営面での難しさは理解できますが、代替案としてのオンライン開催ではなく、ハイブリッドと名乗るのであればどちらの参加であっても障害なく参加できるような工夫や努力を惜しまないことが重要だと思います。今後の運営においてどうぞご検討ください。
- ・今回の学会で、一般演題はwebなのに、なぜ学生セッションは現地開催のみなのでしょう？現在のコロナの状況で学生に現地参加を強いることで、学生が参加しにくい状況になっています。
- ・以前の学会から会員を継続していますが、学会だけではなく、研修制度など医師に偏ってきている印象がぬぐえず、魅力を感じなくなっているところで、退会も考えているところでした。このような機会なので、お伝えさえ出ていただきました。チーム医療や多職種連携といわれながら、なかなかそのような学会運営ではないように思えます。
- ・現地開催のときに、なによりもバリアやヘルプ機能の見える化が必要と感じました。バリア（段差があるとか、ドアの開閉の様式（自動、開き戸、引き戸）など）、ヘルプ（スロープ、エレベーターの場所、介助者の有無、授乳スペース、音を気にせず子どもなどと視聴できるスペース（コンサートホールなどにあるガラス部屋や別室やオープンスペースでの映像放映）など）、施設の機能（トイレ：オムツ替えシート、チャイルドシート、オストメイトなどの有無）など、もちろん子連れ、ベビーカーなどありますが、様々な参加者の参加しやすさを考慮する必要があると思いました。また、託児にもれた場合に会場で子どもづれでどのように過ごせるかも鍵になると感じます。また、視覚障害、聴覚障害といったバリアを持つ参加者への配慮はまだこの学会で不足しているように感じます。